

2-3. 高大連携事業 (学園連携推進室)

学園連携推進室は2007年4月に「学園は一つ」の方針の下に、各設置校の連携協力を円滑に進めるためにできた部署である。特に、京都文教高校から京都文教大学・京都文教短期大学への進学をスムーズに進めるために制度化され、2008年10月にスタートしたALP（アドバンスト・レクチャープログラム）の運営と、関連行事の企画運営を主たる業務としている。

2013年度は、大学に新たに設置された臨床心理学部教育福祉心理学科こども教育心理専攻と小学校との連携の橋渡しを行った。

ALP制度とは、京都文教大学・短大が実施する特別講義を受講し、その成績が評価されると、京都文教大学・短大への特別推薦者として学校長から推薦されるものである。講義は、原則として大学・短大の教員が高校に出向して行う。高校2年生の10月から1月までに10回、高校3年生の4月から7月までに9回の講義を行う。

2013年度は京都文教高校から京都文教大学に22名、京都文教短期大学に24名が進学し、そのうちALPを通して進学した生徒は大学19名、短大22名いた。

以下は、2013年度に行われたALP制度に関連する高大連携事業である。

<高校1年生対象プログラム>

1. 「高校1年生対象キャンパス訪問プログラム」の実施（2013年7月）

高校1年生の進学コース・体育コースの全員と特進Bコースの希望者278名が「大学での学び」を知ることを目的として、宇治キャンパスを訪問し、ブレインストーミング体験とキャンパスツアーを学生スタッフの下で行った。

<高校2年生対象プログラム>

1. 「オープンキャンパス体験プログラム」の実施（2013年8月）

進学コース・体育コースおよび特進BコースのALP受講希望者123名が、大学・短大の学科説明会およびオープンキャンパスに参加し、大学に進学するか短大に進学するかを決めるための機会とした。

2. 高校2年生ALP開講式の実施（2013年9月）

ALPの開講日に、生徒への激励と受講上の諸注意を伝えるために開催した。

3. 高校2年生ALP終了式の実施（2014年1月）

成績表を渡し、大・短教職員から今後に向けてのアドバイスする機会とした。

<高校3年生対象プログラム>

1. 「高校3年生ALP終了式」開催（2013年6月）

成績表を渡し、大学進学を控えた今後の高校生活の過ごし方などのアドバイスを行った。

2. 修了認定書を授与（2013年7月）

高2・高3のALPの成績を評価し、合格者に修了認定書を授与した。それに基づいて、生徒は高校から京都文教大学・短期大学の希望する学科に特別推薦された。